



南校だより

令和 7 年 1 月 8 日 (水)

中津川市立南小学校

No.1 5

次の学年に向けて「本物」にして節（フシ）を作る

校 長 中村 行雄

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。

12日間の冬休みも終わり、今日から学校生活がスタートしました。今日からの3か月はこの1年間のまとめと次の学年へ向けた準備の期間となります。今日の冬休み明け集会では、南小の子どもたちに次のような話をしました。

今日から新たな学校生活が始まります。今日から3月の終わりまでの3か月間は、この1年のまとめと次の学年への準備の3か月間です。

この1年のまとめというのは、去年の4月からの1年間で自分が成長したことを確かめることです。成長はできることが増えることなので、この1年間で自分ができるようになったことを確かめることです。そして、自分ができるようになったことが「本物」になるようにしてほしいと思います。「本物」というのは、「いつでも、どこでも、だれとでも、一人でも」できることをいいます。この1年間自分ができるようになったことが、「いつでもできる、どこでもできる、だれとでもできる、一人でもできる」ようにがんばってほしいです。

この1年のまとめと同じように次の学年の準備も大切にしたいです。準備というのは、まずは次の学年ではこんな自分になりたいという目標をもつことです。その目標をもつために他の学年を実際に見てみるのもひとつの方法です。朝の会や帰りの会、授業を実際に見て、目標をもつヒントにできるといいと思います。

そして、最後に大切にしてほしいことは、1年間のまとめで確かめた自分と次の学年で目標とする自分をつなげることです。今の自分に何ができるようになれば、目標とする自分になれるのかを考えることです。3月の終わりには南小のみなさんが、「よし、次の学年でもがんばれそうだ!」と思うことができるようにしてほしいです。

自分の成長をしっかりと振り返り、その上で次の新しい目標をもつことは人生の節（フシ）を作ることだと思います。パナソニックの創始者の松下幸之助さんはこんなことを言っています。

竹にフシがなければズンベラボーでとりとめがなくて風雪に耐えるあの強さも生まれてこないであろう。

竹にはやはりフシがいるのである。

同様に、流れる歳月にもやはりフシがいる。

ともすれば、とりとめもなく過ぎていきがちな日々である。

せめて年に一回はフシを作って、身辺を整理し、長い人生に耐える力を養いたい。

そういう意味では、お正月は意義深く、おめでたくて、心もあらたまる。

南小の子どもたちが年度の変り目に確かな強いフシを作って、力強く学校生活を歩んでほしいと思います。お家の方もお子さんと一緒にこの1年でできたことを確かめていただき、それが「本物」となるよう応援をよろしくお願いします。